

(指定様式)

団体調書【新規事業チャレンジ部門】

(1) 団体概要

団体名	市民活動の会	HP等URL	とよた市民活動情報サイト
団体種別と設立年月	<input type="checkbox"/> NPO法人(年 月) <input type="checkbox"/> その他法人(年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 任意団体(2000年5月)	活動分野	3 まちづくりの推進 ★P.16の市民活動一覧表を参考に
代表者名	役職名: 会長 氏名: 豊田 花子	会員数	8名
団体連絡先 (申請担当者)	役職名: 会計 氏名: 花田 豊男 住所: 〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地 ※こちらの連絡先に今後のお知らせ等をご連絡いたします。	Tel	0565-36-1730
		FAX	0565-34-0015
		e-mail	tec@city.toyota.aichi.jp

(2) 会員名簿

	氏名	役職名	住所	生年月日
※会員が5人以上の場合は、別に名簿を添付してください。	豊田 花子	会長	豊田市～	昭和〇〇年〇月〇日
	〇〇 〇〇	副会長	豊田市～	昭和〇〇年〇月〇日
	花田 豊男	会計	豊田市～	平成〇年〇月〇日
	〇〇 〇〇	〇〇	豊田市～	平成〇年〇月〇日
	〇〇 〇〇	〇〇	豊田市～	昭和〇〇年〇月〇日

★会員が5名以上でなければ申請ができません。

★定款・規約と同様の役職名を記入してください。

(3) 団体の活動目的

活動の目的・目標	目的: 「共働によるまちづくり」を推進し、市民活動の促進を図る 目標: 子どもからシニアまで誰もが活躍し、まちづくりの担い手となることを目指し、方針を3つ掲げている。①市民が市民活動を知る・参加するきっかけづくりをする②市民活動団体が、活動を継続・発展させるための支援をする③市民活動支援拠点連携・コーディネート機能の強化
活動の内容・活動実績	<ul style="list-style-type: none">情報管理提供) 広報紙の発行(年6回)啓発事業) 対話の場づくり(年4回)啓発事業) つながる博プラスの開催(7~11月)相談事業) NPO 運営相談(年8回)研修事業) 団体向けスキルアップ講座の開催(年4回)連携促進事業) 交流会の開催(年3回) <p>★どのくらいの頻度で何をしているのか記入</p>

(4) 審査項目毎にアピールしたいこと

<p>【課題】</p> <p>・社会課題に対して、団体の活動目的が明確となっているか。(趣味や娯楽、特定の個人や団体の利益が目的となっていないか)</p>	<p>予測困難な時代において、ステークホルダーの多様化、情報量の増加等により社会課題が複雑化し解決が困難になっていることを当団体では社会課題ととらえて活動している。課題解決のためには、多様な主体がネットワークを作り、総合知を活用する必要があると考え、誰もが活躍できる「共働によるまちづくり」を推進と社会課題を解決する市民活動の促進を目指している。</p>
<p>【資金】</p> <p>・団体の自主的な財源を確保しようとしているか(会費・参加費等)。</p>	<p>会員からの会費 企業からの寄附 講座ごとの参加</p> <p>★自団体が活動することでどんな社会が実現するのか、どのような社会を目指しているのか。具体的な数値やデータ等もあれば、使用しながら何を課題として活動しているのか等を説明して下さい。</p> <p>★補助金は一時的な財源です。補助金がなくても活動が継続できそうか等が審査の基準です。</p>
<p>【継続性】</p> <p>・団体の組織的な活動ができる体制が整っているか。</p> <p>・適正な事業計画が作成されているか。</p>	<p>月に1度、ミーティングを実施し、それぞれの事業の進捗状況を話し合ったり、購入する備品について会員で話しあったりして決定している。事業計画については会員で意見を出し合い、それぞれの役割とスケジュールを決め、誰かひとりに負担が集中しないように工夫している。</p> <p>★1人の活動になっていないか、どのような役割分担になっているか、会員の意見をどのように聞き、反映しているかなどを具体的に記入してください。</p>
<p>【組織強化】</p> <p>・団体の組織強化への取組が明確になっているか。</p> <p>・必要な資源(人・モノ・情報)の確保の方針や計画が明確になっているか。</p>	<p>新たにまちづくり担い手育成事業を行うことにより、今まで関わりのなかったたくさんの人とのつながりが期待される。新たな挑戦と出会いが自団体にとっても人材の育成、組織の機能強化につながると考えている。そのためには、まずは、担い手育成事業の概要を多くの方に知ってもらい、多くの方に関わってもらうことが重要であると考えており、今年度は、プレイベントをする事務局を集めるためのきっかけのイベントを実施した。</p>
<p>★何をすることにより、どのように団体が成長できると考えているか。そのために必要なものをどのように準備していくかを記入してください。</p>	
<p>【実現性】</p> <p>・新規事業に対する2年もしくは3年後の目標が明確で、計画ができてきているか。</p>	<p>○ 2年目の計画 1年目に育成した事務局人材による運営事務局が主体となり、まちづくり担い手育成事業第1期(全6回連続の連続講座/半年にわたるプロジェクト)を実施。同時に自立して運営ができるように参加企業から寄附を募る。</p> <p>○ 3年目の計画 第1期事務局メンバーがサポートしながら、第1期に参加した方を中心に事務局メンバーを再構成。育成した事務局人材による運営事務局が主体となり、第2期まちづくり担い手育成事業を実施。参加費・寄附で持続的な運営ができるようにする。</p>

★最終的な目標は何か。その目標を達成するためにいつまでに何を進める必要があるのか等を具体的に記入してください。